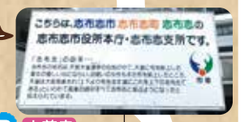
# 志布志まちあるきマップ

shibushi machiarukimap

志布志は“志（こころざし）”あふれるまちです。
歴史を訪ねて、さあ歩きましょう！！

大クス

観光ガイド



## 薩摩の武士が生きた町

～武家屋敷群「麓」を歩く～

令和元年5月 日本遺産 に認定されました

志布志麓 日本遺産構成文化財

- 天水氏庭園
- 平山氏庭園
- 清水氏庭園
- 志布志城跡
- 津口番所跡
- 鳥濱氏庭園
- 福山氏庭園
- 地頭仮屋跡
- 宝満寺跡
- 大慈寺

## マップの見方

1 2 3 4 の番号と色は裏面の各コースのタイトル番号・色と一致します。

各番号の色と線は、そのコースの位置を示しています。

記号の区分は以下の通りです。

武家屋敷 武家門　墓地
角地蔵　湧水地
石敢當　警察署 交番

公衆トイレ　ガソリンスタンド GS
駐車場 P　銀行 ¥　食事処
郵便局 〒　コンビニ CVS　お茶処
ホテル H　バス停　ドラッグストア DS

## 志布志の歴史

志布志の地名は、天智天皇遷幸の伝説の中で、天皇に布を献上した妻女の優しい心にならい、召使いの女性もまた布を献上したところ、天皇は上下その志の厚いことを喜ばれてこの地は志布志であるといわれたので、以来高浜の庄と呼ばれていたこの地方を志布志と呼ぶようになったと伝えられています。

なお、志布志の地名が文献上に初めて現れるのは、鎌倉時代末期の 1316 年、宝満寺再興の折、志布志津の一角を宝満寺に寄進するという文書に見ることが出来ます。

平安時代この地域は救仁院（松山・志布志・有明東部）と呼ばれ、前川の河口部は国内最大の荘園（島津荘）の水門（みなと）としての役割を果たしていました。

南北朝時代になると志布志城（山城）を居城としていた島津氏久が1374 年に明国に使者を派遣しており、当時から中国や東南アジアと交易のあったことは山城の出土品からもうかがえます。また口伝としての「志布志千軒まち」の呼称は、すでに中世に優れた海運力を持つ港町として、繁栄していた様子を物語る言葉と考えられます。

藩政期の志布志は、島津領日向国唯一の浦町として、京阪や南西諸島との廻船で潤い、幕末には密貿易も盛んに行われ多くの豪商を輩出しました。

現在の志布志港は、1969 年（昭和 44 年）に国の重要港湾に指定を受け、2013 年、国内屈指の畜産地帯を背後に飼料の原料となる穀物等を輸入する、国際バルク戦略港湾に選定されるなど、さらに発展していくことが期待されます。

## 志布志市内のご案内

### タクシー・レンタカー

| タクシー会社 | ☎（電 話） |
|---|---|
| 三 州 タ ク シ ー | ０９９－４７２－２４５４ |
| 大隅観光タクシー（みなとタクシー） | ０９９－４７２－１２１２ |

| レンタカー会社 | ☎（電 話） |
|---|---|
| しぶしレンタカー | ０９９－４７７－２３０８ |
| カースタレンタカー志布志店 | ０９９－４７９－４１１０ |

### JR・路線バス

- JR九州案内センター（JR日南線）　☎0570-04-1717
- 鹿児島交通㈱鹿屋営業所（路線バス）　☎0994-65-2258

### 観光ガイド

地元の観光ガイドが、心をこめて
まちあるきのご案内をいたします。どうぞお気軽にご利用ください。

- お問い合せ先／ 志布志市総合観光案内所 ☎099-472-2224
- 事 前 予 約／ お申込みは、原則として１週間前まで。
- 案 内 時 間／ ご案内は９時～１６時の間
- 受 付 時 間／ ９時～１７時（休館日1月1日・2日）
- 保 険 料 等／ お客様の傷害保険料等代として、お一人様 200 円いただきます。
- 案 内 方 法／ 原則として徒歩で、ご案内します。（ご希望の見学場所、所要時間等はご相談ください。）
- 受 入 人 数／ ２名～